

平成 18 年 教室業績 (2006 年 1 月～12 月)

(A) 原著論文

- 1) 藤村茂人、蕪城俊克、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**: CXCR5&CCR5 ノックアウトマウスにおける EAU. 平成 17 年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班. 平成 17 年度研究業績: 36-41, 2006.
- 2) 塙本宰、川村亮介、田邊樹朗、**堀秀行**、川崎勉、出田秀尚: 白内障手術被嚢時にトリアムシノロンを用いて行う前部硝子体処置. 眼科手術 19: 385-388, 2006.
- 3) **橋本加奈**、**牧野伸二**、**金上千佳**、**金上貞夫**: 視神経乳頭周囲にみられた網膜色素上皮肥大. 臨眼 60: 1562-1564, 2006.
- 4) **橋本尚子**、**原岳**: 漏出濾過胞に対する結膜被覆術の漏出阻止効果. 眼科手術 19: 551-554, 2006.
- 5) **橋本尚子**、**原岳**、**水流忠彦**: 治療薬選択を目的としたラタノプロスト、チモロール・ゲル点眼薬の 4 週試用の眼圧下降効果. 臨眼 60: 757-759, 2006.
- 6) **堀秀行**、田邊樹朗、福留みのり、川崎勉、出田秀尚: トリアムシノロンアセトニドのテノン嚢下注射を併用した光線力学療法. 臨眼 60: 1369-1373, 2006.
- 7) 井上賢治、若倉雅登、井上治郎、松尾寛、**原岳**、富田剛司: ラタノプロスト使用患者の眼局所副作用. 日眼会誌 110: 581-587, 2006.
- 8) **石崎こずえ**、**小幡博人**、**牧野伸二**、**茨木信博**: 穿孔性眼外傷の統計. 臨眼 60: 967-969, 2006.
- 9) 泉雅子、井上賢治、岩倉雅登、井上治郎、松尾寛、**原岳**、富田剛司: ラタノプロストからウノプロストンへの変更による眼瞼と睫毛の変化. 臨眼 60: 837-841, 2006.
- 10) **加藤健**、**牧野伸二**: MRI で病変部位が確認できた両側 one-and-a-half 症候群の 1 例. 眼臨 100: 519-521, 2006.
- 11) 川村亮介、塙本宰、田邊樹朗、**堀秀行**、佐藤寛之、宇野毅、川崎勉、出田秀尚: 格子状変性の裂孔による網膜剥離に対する硝子体手術時の硝子体膜処理. 眼科手術 19: 253-257, 2006.
- 12) **木野内理恵子**、**牧野伸二**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**、**山本裕子**: 上斜筋低形成を伴った多少脳回症の 1 例. 眼臨 100: 124-128, 2006.
- 13) **牧野伸二**: 乳児内斜視の超早期治療. 非観血治療. 眼臨 100: 26-34, 2006.
- 14) **牧野伸二**、**木野内理恵子**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**: 下直筋後転鼻側水平移動を行った外傷性滑車神経麻痺の 1 例. 自治医科大学医学部紀要 28: 89-93, 2005.
- 15) **牧野伸二**、**木野内理恵子**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**、**山本裕子**: Double elevator palsy における Knapp 法の手術成績と上直筋の画像所見. 眼臨 100: 659-663, 2006.
- 16) **牧野伸二**、**木野内理恵子**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**、**山本裕子**: 乳児内斜視に対するプリズム治療. 斜視角変化に及ぼす要因の検討. 日本視能訓練士協会誌 35: 87-92, 2006.
- 17) **牧野伸二**、**木野内理恵子**、**保沢こずえ**、**近藤玲子**、**川崎知子**、**坂庭敦子**、**杉山華江**、**平林里恵**: 両眼動眼神経麻痺による麻痺性外斜視に対する斜視手術. 眼科 48: 1959-1964, 2006.
- 18) **佐々木誠**、**牧野伸二**: 視神経乳頭黒色細胞腫に伴った網膜中心動脈分枝閉塞症の 1 例. あたらしい眼科 23: 1231-1233, 2006.
- 19) 高本光子、**川島秀俊**、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎: レミケードを 3 年以上にわたり投与を継続したベーチェット病の一症例. 平成 17 年度厚生省特定疾患ベーチェット病調査研究班. 平成 17 年度研究業績: 58-62, 2006.

- 20) 竹澤美貴子、牧野伸二、金上千佳、金上貞夫: Shaken baby syndrome の 1 例. 臨眼 60:154-156, 2006.
- 21) 柳澤美衣子、国松志保、加藤聡、鷺見泉、北澤万里子、田村めぐみ、三嶋明日香、落合真紀子、庄司信行: 重度視覚障害者における疾患別生活不自由度. あたらしい眼科 23: 1235-1238, 2006.
- 22) 横山由晶、牧野伸二、橋本尚子、水流忠彦: 腎血管性高血圧症に合併した高血圧性脈絡膜症の 1 例. 臨眼 60:1301-1307, 2006.
- 23) 横山由晶、牧野伸二、金上千佳、金上貞夫: 高ホモシステイン血症が発症に関与したと考えられる網膜中心静脈閉塞症の 1 例. 眼臨 100:761-765, 2006.
- 24) Akiyama, K., Numaga, J., Yoshida, A., **Kawashima H.**, Kaburaki, T., Fujino, Y.: Statistical analysis of endogenous uveitis at Tokyo University Hospital (1998-2000). Jpn J Ophthalmol 50:69-71, 2006.
- 25) **Hara, T.**, Hara, T., **Tsuru, T.**: Increase of peak intraocular pressure during sleep in reproduced diurnal changes by posture. Arch Ophthalmol 124:165-168, 2006.
- 26) Kawano, J., Tomidokoro, A., Mayama, C., **Kunimatsu, S.**, Tomita, G., Araie, M.: Correlation between hemifield visual field damage and corresponding parapapillary atrophy in normal-tension glaucoma. Am J Ophthalmol 142:40-45, 2006.
- 27) Kinouchi, R., Kinouchi, T., **Hamamoto, T.**, Saito, T., Tavares, A., **Tsuru, T.**, Yamagami, S.: Distribution of CESP-1 protein in the corneal endothelium and other tissues. Invest Ophthalmol Vis Sci 47:1397-1403, 2006.
- 28) **Kunimatsu, S.**, Mayama, C., Tomidokoro, A., Araie M.: Plasma endothelin-1 level in Japanese normal tension glaucoma patients. Curr Eye Res 31: 727-31, 2006.
- 29) **Kunimatsu, S.**, Tomidokoro, A., Saito, H., Aihara, M., Tomita, G., Araie, M.: Performance of GDx VCC in eyes with peripapillary atrophy: comparison of three circle sizes. Eye. 2006.
- 30) **Obata, H.**: Anatomy and histopathology of human lacrimal gland. Cornea 25:S82-S89, 2006.
- 31) **Obata, H.**, **Ibaraki, N.**, **Tsuru, T.**: A technique for preventing spontaneous loss of lacrimal punctal plugs. Am J Ophthalmol 141: 567-569, 2006.
- 32) **Obata, H.**, **Inoki, T.**, **Tsuru, T.**: Identification of oxytalan fibers in Salzmann's nodular degeneration. Cornea 25: 586-589, 2006.
- 33) **Obata, H.**, **Mori, K.**, **Tsuru, T.**: Subconjunctival mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma arising in Tenon's capsule. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 244: 118-121, 2006.
- 34) Reed RW., Yu F., Accorinti M., Bodaghi B., Chee SP. Fardeau C., Goto H., Holland GN., **Kawashima H.**, Kojima E., Lehoang P., Lemaitre C., Okada AA., Pivetti-Pezzi P. Secchi A., See RF., Tabbara KF., Usui M., Rao NA.: Evaluation of the effect on outcomes of the route of administration of corticosteroids in acute Vogt-Koyanagi-Harada disease. Am J Ophthalmol 142: 119-124, 2006.
- 35) Wang M., Yoshida A., **Kawashima H.**, Takahashi H., Hori J.: Immunogenicity and antigenicity of allogeneic amniotic epithelial transplants grafted to the cornea, conjunctiva, and anterior chamber. Invest Ophthalmol Vis Sci 47:1522-32, 2006.

(B) 学会発表

- 1) **青木真祐、茨木信博**: アクリル球面眼内レンズとアクリル非球面眼内レンズの高次派面収差による比較. 第 60 回日本臨床眼科学会、京都、2006 年 10 月 7 日 (抄録集 p. 113) .
- 2) **青木真祐、小幡博人、水流忠彦、茨木信博**: 重症瞼球癒着の 2 例. 第 52 回栃木県眼科集談会、宇都宮、

2006年11月10日.

- 3) **青木由紀、橋本尚子、国松志保**: 内頸動脈閉塞に対するステント留置後に増悪した血管新生緑内障の1例. 第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月7日(抄録集 p.198).
- 4) **新卓也、藤村茂人、蕪城俊克、相原一、藤野雄次郎、川島秀俊**: T cell lymphoma に発症した進行性網膜外層壊死の1例. 第40回日本眼炎症学会、米子、2006年7月.
- 5) **藤村茂人、蕪城俊克、灰野誠、藤野雄次郎、沼賀二郎、吉田淳、川島秀俊、新家真**: マウス実験的ぶどう膜炎におけるケモカインレセプターCXCR3、CCR5 の役割. 第110回日本眼科学会総会、大阪、2006年4月.
- 6) **藤村茂人、蕪城俊克、灰野誠、藤野雄次郎、沼賀二郎、吉田淳、川島秀俊**: CXCR3、CCR5 ダブルノックアウトマウスによる実験的ぶどう膜炎とその検討. 平成18年度厚生労働省特定疾患ベーチェット病調査研究班班会議、福島、2006年12月.
- 7) **原岳、原玲子、原たかこ、原孜、成田正弥**: 白内障手術用の新しい自動点眼装置の使用経験. 第52回栃木県眼科集談会、宇都宮、2006年11月10日.
- 8) **原岳、原孜、成田正弥、原玲子、原たか子**: 座位眼圧に臥位上昇分を加算した仮再構成眼圧日内変動の評価. 第51回栃木県眼科集談会、自治医大、2006年4月21日.
- 9) **橋本加奈、牧野伸二**: 視神経乳頭周囲にみられた先天性網膜色素上皮肥大の1例. 第16回下野眼科談話会、小山、2006年2月24日.
- 10) **橋本尚子、原岳、国松志保**: 漏出濾過胞に対する結膜被覆術-術式と結膜血管の維持の検討. 第17回日本緑内障学会、神戸、2006年9月9日(抄録集 p.173).
- 11) **橋本尚子、原岳、国松志保**: ラタノプロスト点眼におけるチモロール・ゲル併用効果の検討. 第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月6日(抄録集 p.164).
- 12) **橋本尚子、牧野伸二**: 脈絡膜腫瘍様に発症し、夕焼け状眼底を呈した原田病と考えられる1例. 第51回栃木県眼科集談会、自治医大、2006年4月23日.
- 13) **橋本尚子、水流忠彦、原岳**: 線維柱帯切除術後の晩期濾過胞漏出に対する結膜被覆術の成績. 第29回日本眼科手術学会総会、東京、2006年1月29日(抄録集 p.113).
- 14) **檜垣正彦、小幡博人、堀秀行、猪木多永子、竹澤美貴子、茨木信博**: 外傷性白内障の術後に生じた眼内炎の1例. 第52回栃木県眼科集談会、宇都宮、2006年11月10日.
- 15) **茨木信博**: 当院における糖尿病網膜症に対する硝子体手術の成績. 第46回栃木県総合医学会、宇都宮、2006年11月26日.
- 16) **猪木多永子、小幡博人、竹澤美貴子、石崎こずえ、水流忠彦**: バンコマイシンが奏功した感染性壊死性胸膜炎の一例. 第30回角膜カンファレンス・第22回日本角膜移植学会、東京、2006年2月10日(抄録集 p.101).
- 17) **石崎こずえ、小幡博人、牧野伸二、猪木多永子、茨木信博**: 日本人成人の角膜横径に関する統計学的解析. 第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月5日(抄録集 p.193).
- 18) **石崎こずえ、小幡博人、竹澤美貴子、猪木多永子、茨木信博、水流忠彦、大久保好子、大久保彰、河田真子**: 結膜炎症状で発症した癩痕性類天疱瘡の1例. 第51回栃木県眼科集談会、自治医大、2006年4月23日.
- 19) **蕪城俊克、藤村茂人、荒木章之、灰野誠、藤野雄次郎、沼賀二郎、高本光子、吉田淳、川島秀俊**: ベーチェット病の長期観察例における眼発作頻度の経過. 平成18年度厚生労働省特定疾患ベーチェット病調査研究班班会議、福島、2006年12月.

- 20) 蕪城俊克、藤村茂人、藤野雄次郎、吉田淳、沼賀二郎、坪田恵美、**川島秀俊**：原田病眼部再発時のトリ
アムシノロン後部テノン嚢下注射。第110回日本眼科学会総会、大阪、2006年4月。
- 21) 蕪城俊克、藤村茂人、吉田淳、高本光子、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**：肺非結核性抗酸菌症にみ
られたぶどう膜炎の2症例。第60回日本臨床眼科学会総会、京都、2006年10月6日（抄録集 p.176）。
- 22) **加藤健**、**青木真祐**、**橋本加奈**、**牧野伸二**、**茨木信博**：長期間経過後に両眼にみられた網膜色素上皮裂孔
を伴う胞状網膜剥離の1例。第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月6日（抄録集 p.97）。
- 23) 小泉好子、綾木雅彦、谷口重雄、光谷俊幸、木崎宏史、**小幡博人**：結膜内反乳頭腫の1例。第44回北
日本眼科学会、秋田、2006年7月14日。
- 24) **国松志保**：自治医大眼科におけるロービジョンケアの試み。第51回栃木県眼科集談会、自治医大、
2006年4月23日。
- 25) **国松志保**、富田剛司、富所敦男、相原一、新家眞、吉川啓司、山崎芳夫、松元俊：Large cup disc の
長期予後。第17回日本緑内障学会、神戸、2006年9月8日（抄録集 p.100）。
- 26) 栗田尚幸、斎藤瞳、**国松志保**、間山千尋、富所敦男、新家眞：PENTACAMによる隅角測定と隅角鏡所見・
UBM計測と相関。第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月5日（抄録集 p.63）。
- 27) **牧野伸二**、**木野内理恵子**：Double elevator palsy に対する Knapp 法の手術成績と画像所見。第29回
日本眼科手術学会総会、東京、2006年1月28日（抄録集 p.100）。
- 28) 長井隆行、安積淳、**小幡博人**、後藤浩、大島浩一：眼部悪性腫瘍についての疫学調査提案2。第24回
眼腫瘍研究会、札幌、2006年7月29日。
- 29) **小幡博人**、**青木真祐**、**茨木信博**：リンパ管腫と鑑別を要した結膜多発嚢胞の1例。第24回日本眼腫瘍
研究会、札幌、2006年7月29日。
- 30) **小幡博人**、**竹澤美貴子**、**横山由晶**、**柿沼有里**、**茨木信博**、**水流忠彦**、**大久保彰**：遷延性上皮欠損を伴っ
た難治性アカントアメーバ角膜炎の1例。第41回眼科臨床病理組織研究会、大阪、2006年4月13日（抄
録集 p.271）。
- 31) **小幡博人**、**釣巻穰**：Periocular Xanthogranuloma の2例。第21回眼窩疾患シンポジウム、東京、2006
年11月18日。
- 32) 大島由利、蕪城俊克、吉田淳、沼賀二郎、藤野雄次郎、**川島秀俊**、藤村茂人：蛍光眼底造影所見におけ
るぶどう膜炎診断マーカーの検討。第110回日本眼科学会総会、大阪、2006年4月。
- 33) 大戸規彰、小佐野博史、**茨木信博**、西郡秀夫：水晶体とマトリックスメタロプロテナーゼ(MMPs)一線維化、
障害のMMPs分泌に対する影響。第32回水晶体研究会、川崎、2006年1月7日。
- 34) 佐伯忠賜朗、大橋正明、**国松志保**、相原一、新家眞：ノトラボ、トノペン、マイクロニードル法による
マウスの眼圧測定。第17回日本緑内障学会、神戸、2006年9月9日（抄録集 p.148）。
- 35) 佐々木香る、**小幡博人**、平野耕治、山田昌和、北川和子、木下茂：続発性角膜アミロイドーシスの臨床
像。第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月5日（抄録集 p.56）。
- 36) **佐々木誠**、**牧野伸二**：視神経乳頭黒色細胞腫に伴った網膜中心動脈分枝閉塞症の1例。第44回北日本
眼科学会、秋田、2006年7月14日（抄録集 p.65）。
- 37) **高橋雄二**：硝子体手術の灌流用ポート創について。第11回栃木県眼科手術談話会、宇都宮、2006年5
月19日。
- 38) **竹澤美貴子**、**堀秀行**、**茨木信博**：光学線力学的療法適応外症例に対する経瞳孔温熱療法の短期治療成績。
第52回栃木県眼科集談会、宇都宮、2006年11月10日。
- 39) **竹澤美貴子**、**茨木信博**：光線力学的療法適応外症例に対する経瞳孔温熱療法の短期治療成績。第45回

日本網膜硝子体学会総会、東京、2006年12月2日（抄録集 p. 73）。

40) 竹澤美貴子、牧野伸二：一過性視力低下をきたし、短後毛様動脈閉塞症が疑われた1例。第23回日本眼循環学会、山梨、2006年6月30日。

41) 竹澤美貴子、小幡博人、猪木多永子、橋本尚子、水流忠彦：感染性角膜潰瘍における塗抹検査と培養検査の比較。第30回角膜カンファレンス・第22回日本角膜移植学会、東京、2006年2月10日（抄録集 p. 101）。

42) 竹澤美貴子、小幡博人、石崎こずえ、猪木多永子、山上博子、梯彰弘、茨木信博、水流忠彦：ポリコナゾールが奏効した角膜真菌症の1例。第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月6日（抄録集 p. 156）。

43) 上田高志、蕪城俊克、永原幸、藤村茂人、坪田恵美、沼賀二郎、藤野雄次郎、川島秀俊：網膜下膿瘍を呈した内因性真菌性眼内炎の1症例。第40回日本眼炎症学会、米子、2006年7月。

44) 臼井智彦、小幡博人、横尾誠一、山上聡、天野史郎：翼状片、瞼裂斑、正常結膜における VEGF アイソフォームの発現。第30回角膜カンファレンス・第22回日本角膜移植学会、東京、2006年2月9日（抄録集 p. 88）。

45) 柳澤美衣子、加藤聡、国松志保、鷺見泉、田村めぐみ、三嶋明香、北澤万里子、落合眞紀子、庄司信行：眼科ロービジョン外来において使用頻度の高い光学的補助具。第60回日本臨床眼科学会、京都、2006年10月7日（抄録集 p. 135）。

46) 横山由晶、茨木信博：異なる消毒液による手術直後の皮膚、結膜囊の細菌検出。第29回日本眼科手術学会総会、東京、2006年1月28日（抄録集 p. 101）。

47) 吉田淳、蕪城俊克、藤村茂人、坪田恵美、沼賀二郎、川島秀俊、藤野雄次郎：トリアムシノロン硝子体注射が著効した網膜視神経乳頭新生血管を有するサルコイドーシスの1症例。第60回日本臨床眼科学会総会、京都、2006年10月6日（抄録集 p. 181）。

48) Kunimatsu, S. : Probability of Developing Perimetric Open-Angle Glaucoma in Eyes with Large Optic Disc Cupping. AAO 2006 annual meeting, Las Vegas, Nov, 2006.

49) Obata, H., Tsuru, T. : Age-related change of Myoepithelial Cells in Human Lacrimal Gland. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2006 annual Meeting, Fort Lauderdale, Florida, May 1, 2006 (Abstract p. 92).

(C) 著書・総説

1) 原岳：緑内障診療の進めかた、基礎知識 房水の産生と排出 房水産生・排出量の測定。眼科プラクティス 11: 396-397, 2006.

2) 原岳：緑内障眼に対する白内障手術、将来、緑内障手術を行う可能性がある症例 濾過胞を有する症例。IOL&RS 20:113-118, 2006.

3) 川島秀俊：皮膚・感覚器系の解剖・生理と疾病～眼。眼科関連 MR 研修テキストI: 257-259, 2006.

4) 川島秀俊：皮膚・感覚器系の検査と治療～眼科領域。眼科関連 MR 研修テキストI: 264-266, 2006.

5) 川島秀俊：皮膚・感覚器系の主な疾病と治療ポイント～緑内障。眼科関連 MR 研修テキストI: 272-274, 2006.

6) 牧野伸二：白内障の薬物治療。へき地・離島の保健医療サービスを担う医師の研鑽等のためのへき地・離島マニュアル、厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究班」：86-87, 2006.

7) 牧野伸二：結膜炎の治療。へき地・離島の保健医療サービスを担う医師の研鑽等のためのへき地・離島マニュアル、厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究班」：

88-89, 2006.

8) 牧野伸二: 視力検査. へき地・離島の保健医療サービスを担う医師の研鑽等のためのへき地・離島マニュアル. 厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究班」: 90-91, 2006.

9) 豆生田千浦、梯彰弘: 日常診療での疑問や噂にズバリ答えます! The Truth of Rumors. 内分泌・代謝・糖尿病 視力の悪化を訴えない糖尿病患者には眼科受信を勧めなくてよいのか? 治療 88: 1081-1083, 2006.

10) 小幡博人: ドライアイ. 第59回日本臨床眼科学会印象記. 眼科 48: 653-654, 2006.

11) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 52. Overdiagnosis と underdiagnosis-結膜のリンパ性腫瘍. 眼科 48: 117-120, 2006.

12) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 53. 角膜にアミロイドが沈着する疾患. 眼科 48: 255-259, 2006.

13) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 54. 水疱性角膜症の病理. 眼科 48: 519-524, 2006.

14) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 55. 目にみえないもの-免疫組織化学. 眼科 48: 801-804, 2006.

15) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 56. 眼底周辺部の病理. 眼科 48: 945-949, 2006.

16) 小幡博人: 眼科医のための病理学. 57. 水晶体過敏性眼内炎の病理. 眼科 48: 1045-1049, 2006.

17) 小幡博人、寺島浩子、志村留美子、五十嵐俊彦: 眼科医のための病理学. 58. 駆逐性出血の病理. 眼科 48: 1167-1170, 2006.

18) 小幡博人、高橋康子: 眼科医のための病理学. 59. 結膜の乳頭と濾胞の病理. 眼科 48: 1283-1287, 2006.

19) 小幡博人、青木真祐: 眼科医のための病理学. 60. 目にみえないもの part2-in situ ハイブリダイゼーション. 眼科 48: 1715-1719, 2006.

20) 小幡博人: Meibom 腺梗塞と霰粒腫. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、41-43, 2006.

21) 小幡博人: 角膜移植で得られた標本の固定と切り出し. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、95, 2006.

22) 小幡博人: 球結膜・強膜の正常組織. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、102-103, 2006.

23) 小幡博人: 瞼裂斑 vs 翼状片. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、104-106, 2006.

24) 小幡博人: リンパ管拡張結膜嚢胞 vs 結膜リンパ管拡張. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、108-109, 2006.

25) 小幡博人: 輪部デルモイド vs 皮様脂肪腫 vs 眼窩脂肪ヘルニア. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、110-111, 2006.

26) 小幡博人: 結膜上皮内新生物 vs 扁平上皮癌. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、112-114, 2006.

27) 小幡博人: 結膜標本の固定と切り出し. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、107, 2006.

28) 小幡博人、平形明人: 糖尿病網膜症 vs 未熟児網膜症. 石橋達朗 (編): いますぐ役立つ眼病理. 眼科プラクティス. 文光堂、東京、192-195, 2006.

29) 佐々木誠、原岳、橋本尚子、水流忠彦: 緑内障セミナー 3時間連続臥位における眼圧経過. あたらしい眼科 23: 625-626, 2006.

- 30) 竹澤美貴子、牧野伸二、金上千佳、金上貞夫：眼科図鑑 Shaken baby syndrome の 1 例。臨眼 60：154-156, 2006.
- 31) 水流忠彦：眼科疾患治療の動向。黄斑部疾患に対する新しい治療法。今日の治療指針 2006 年版、医学書院、東京、1021, 2006.
- 32) 水流忠彦：全層角膜移植の基本手技。日本角膜移植学会誌 6：5-9, 2004-2006.
- 33) 水流忠彦：ドライアイ・角膜乾燥症。寺下謙三（監）：標準治療最新版（第 3 版）-あなたの「最適な治療法」がわかる本。日本医療企画、東京、1361-1364, 2006.
- 34) 水流忠彦：角膜炎・角膜潰瘍。寺下謙三（監）：標準治療最新版（第 3 版）-あなたの「最適な治療法」がわかる本。日本医療企画、東京、1370-1373, 2006.
- 35) 水流忠彦：薬剤師のための臨床講座その 101。白内障・緑内障 Up-To-Date. Pharamavision 10：2-9, 2006.
- 36) 水流忠彦：スリットランプの基本的な使い方を教えてください。あたらしい眼科 23（臨増）：111-114, 2006.

(D) その他

- 1) 原岳：生活姿勢を考慮した日内変動。第 60 回日本臨床眼科学会ランチョンセミナー、京都、2006 年 10 月 6 日.
- 2) 出田秀尚、川崎勉、田邊樹朗、堀秀行：双眼倒像鏡を使おう～その 2～動画で圧迫眼底検査を体験～。第 60 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、京都、2006 年 10 月 8 日.
- 3) 川島秀俊：炎症を伴う虚血性網膜病変に対する網膜光凝固術の適応と限界。第 29 回日本眼科手術学会インストラクションコース「網膜光凝固術の適応と限界」、東京、2006 年 1 月 27 日.
- 4) 川島秀俊：最近増加しているサルコイドーシスぶどう膜炎。日本医師会ラジオ NIKKEI 医学講座～対談、東京、2006 年 6 月 20 日.
- 5) 川島秀俊：最近の白内障治療について。第 35 回日本赤十字社埼玉県有功会総会、さいたま、2006 年 6 月 20 日.
- 6) 川島秀俊：日常よく見かける前眼部ぶどう膜炎。済生会新潟第二病院眼科講演会 2006、新潟、2006 年 7 月 30 日.
- 7) 川島秀俊：日常よく見かける前眼部ぶどう膜炎。東京女子医大懇話会講演会、さいたま、2006 年 7 月 20 日.
- 8) 牧野伸二：斜視・弱視の検査と視覚障害者の指導。平成 18 年度 6 県合同眼科コメディカル講習会、2006 年 4 月 9 日.
- 9) 牧野伸二：斜視手術の適応と治療効果。第 19 回埼玉県眼科手術談話会特別講演、2006 年 7 月 2 日.
- 10) 牧野伸二：自治医科大学眼科弱視斜視外来における斜視手術の適応。第 52 回栃木県眼科集談会特別講演、宇都宮、2006 年 11 月 10 日.
- 11) 小幡博人：眼科手術に必要な解剖と生理。前眼部（眼瞼含む）。第 29 回日本眼科手術学会シンポジウム、2006 年 1 月 27 日.
- 12) 小幡博人：明日からはじめよう手術をしたら病理検査。第 29 回日本眼科手術学会インストラクションコース、2006 年 1 月 28 日.
- 13) 小幡博人：明日から役立つ角結膜疾患の臨床と病理。茨城県眼科医会学術講演会、水戸、2006 年 3 月

19 日.

14) **小幡博人**: マイボーム腺疾患の病態を探る. 第 178 回長崎眼科集談会特別講演、2006 年 4 月 9 日.

15) **小幡博人**: 免疫組織化学の要点. 眼病理セミナー. 第 110 回日本眼科学会総会、2006 年 4 月 14 日.

16) **小幡博人**: 網膜硝子体サージャンのための病理学. ビト研特別講演、東京、2006 年 6 月 23 日.

17) **小幡博人**: 網膜硝子体術者のための検体の扱い方. 第 16 回千葉硝子体研究会特別講演、2006 年 8 月 26 日.

18) **小幡博人**: 霰粒腫の治療戦略、第 21 回眼窩疾患シンポジウム、東京、2006 年 11 月 18 日.

19) **Ibaraki, N.**: Basic technique of PEA and IOL implantation. The 6th Asian Cataract Research Conference, Beijing, China, Jul 3, 2006.

20) **Obata, H.**: Corneal Wound Healing from the Perspective of Keratoplasty Specimens. The 12th Annual Meeting of the Kyoto Cornea Club. Symposium 2 “Wound Healing”, Kyoto, Dec, 2006.